さあ反戦平和の準備を！

映画 武器なき斗い



©独立プロ名画保存会

戦争に反対した国会議員・山本宣治の物語

社会派の巨匠
山本薩夫監督！

脚本：依田義賢　山形雄策
音楽：林光　原作：西口克己「山宣」

名優たちの共演！

下元　勉　田中　邦衛
渡辺美佐子　谷　育子
東野英治郎　小沢栄太郎
宇野　重吉　南原　宏治
中谷　一郎　利根はる恵
小沢　昭一　斉藤　美和
多々良　純　山本　學
岸　輝子　細川ちか子





山本宣治
1889年～1929年没
生物学者として京都大学、同志社大学教授。
1928年第1回普通選挙で京都2区から当選。
1929年3月5日、神田で右翼によって暗殺。

提供　合同会社 NKA プロモート
HP：https://nka-promote.com/
Mail：nka.promote@yahoo.ne.jp
TEL.080-7316-9785

山宣ひとり孤塁を守る。だが私は淋しくない。背後には大衆が支持しているから



©独立プロ名画保存会

見どころ ●山本宣治にとって平和・人権を守ることは、大衆を導くスローガンではない。労働・農民争議の場に自らをおき、現場の人の心の中に自己を投げ込み、共に行動しました。ですから人々は彼のことを"山宣"と親しみ希望を託しました。

物語 ●1925 年普通選挙法と抱き合わせで成立した治安維持法によって社会運動家や自由主義者への弾圧は強まった。同志社大学で生物学を教えていた山本宣治は社会運動にもかかわっていて、大学を追われてしまう。山本は平和と人権を守ることを掲げ、普通選挙に立候補を決意。激しい選挙干渉と弾圧を退け、見事当選する。治安維持法に死刑条項を加えることを狙う政府に、山本は帝国議会で反対演説を決意する。その前日、右翼の凶刃に倒れる。そして戦後……。

映画が製作されたのは 1960 年、安保闘争の真っ只中。エキストラも第一部は反安保集会、第二部は演説会のシーンの撮影と闘いと一体に製作されました。

出演者は戦前、特高警察の弾圧経験もある「新劇」の名優たち。「二度と戦争を許さない」の想いと当時の熱気が伝わります。

監督は社会派の巨匠山本薩夫。反戦映画であるが、啓蒙作品ではない。喜怒哀楽・エンターテインメントとして楽しめる傑作になっています。

2026年11月13日 (金) (上映時間141分)

①14：00～　②18：30～ (各回30分前に開場)

Fプレイス (藤沢市労働会館) ホール

前売券：1000円 (電話予約またはこのチラシ持参の方)

当日券：1200円



共催：「武器なき闘い」藤沢上映実行委員会 ・ ふじさわ・九条の会

連絡先：島田 (090-9239-0864) ・ 品川 (090-8721-8879)